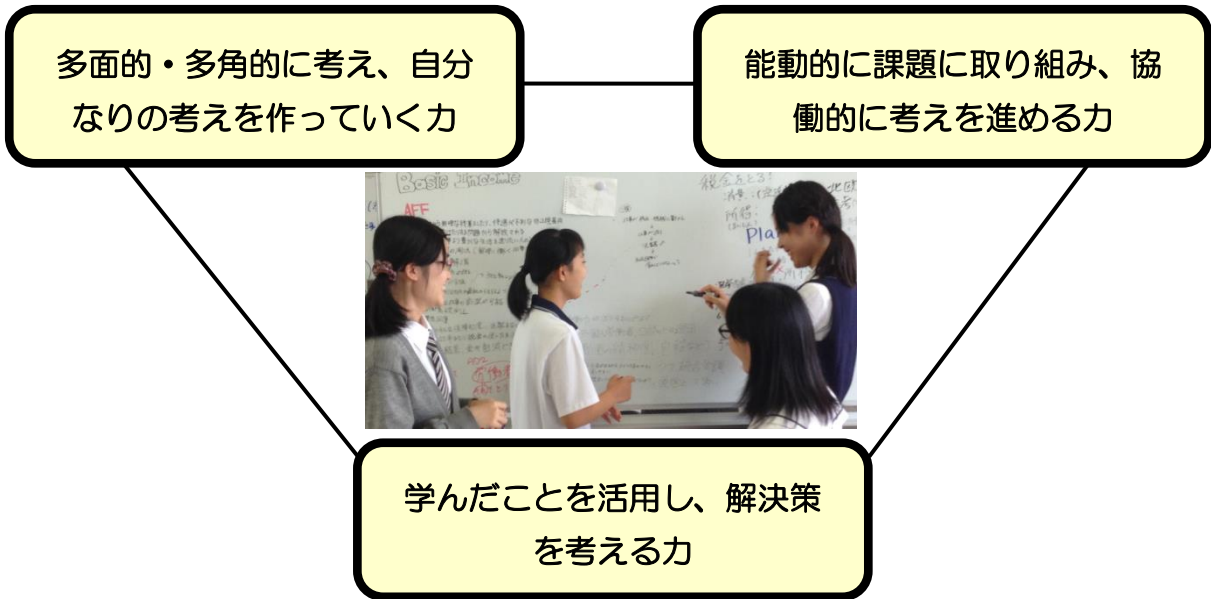


1. 教科で育成したい資質・能力

<地歴公民科が生徒に身に付けさせたい3つの力(理想の生徒像)>



2. アクティブ・ラーニングの具体的取組

芳泉高校地歴公民科が3年間を通じて育成したい資質・能力・態度に関して、教科として共通認識を持ち、全教員が授業計画・学習計画を立案する際に、単元のまとまりごとにアクティブ・ラーニング(主体的・対話的で深い学び)を段階的に位置づける。(可能であれば第4段階の実践にチャレンジしていく)

第1段階	毎時間、ペアやグループで意見の共有や議論を行う。
第2段階	単元のまとまりごとに、重要概念・因果関係・現代社会の諸課題について、要約や意見発表を行う。
第3段階	年1回以上、ジグソー法・『学びあい』・発表形式(生徒発表型)・クイズ形式の授業などを行う。
第4段階	アクティブ・ラーニングの実践と評価や考査を連動させ、ルーブリック評価を活用しつつ、「新テスト」に対応した考査問題を作成する。

3. 今後の取組

- 生徒・教員授業評価、授業評価分析の結果を受けて、新しいスタイルの授業を展開する。
- ルーブリック自己評価を研究する。